



2019年12月期 第3四半期 決算説明資料

2019年 11月 7日
富士ソフト 株式会社



目次

2019年12月期 第3四半期 決算

- P2. 連結業績ハイライト
- P5. 主なグループ会社売上高・営業利益
- P6. 連結セグメント別売上高・営業利益
- P8. 連結損益計算書
- P9. 連結貸借対照表
- P10. 連結キャッシュ・フロー計算書
- P11. 連結S I事業の受注高・受注残高

1.連結業績ハイライト① (3Q累計1-9月実績)

売上高はシステム構築分野およびグループ会社の製品販売の好調により増収

◇売上高は、組込/制御系では自動車関連、社会インフラ系、機械制御系、業務系では製造業向け、流通・サービス向け、ノンバンク、インターネットサービスを中心にシステム構築分野が好調に推移しました。また、ライセンス販売やBPO・コールセンターサービスも好調に推移し、前同比114.0%の174,153百万円となりました。

営業利益は増収により増益

◇営業利益は、増収により前同比123.2%の10,667百万円となりました。

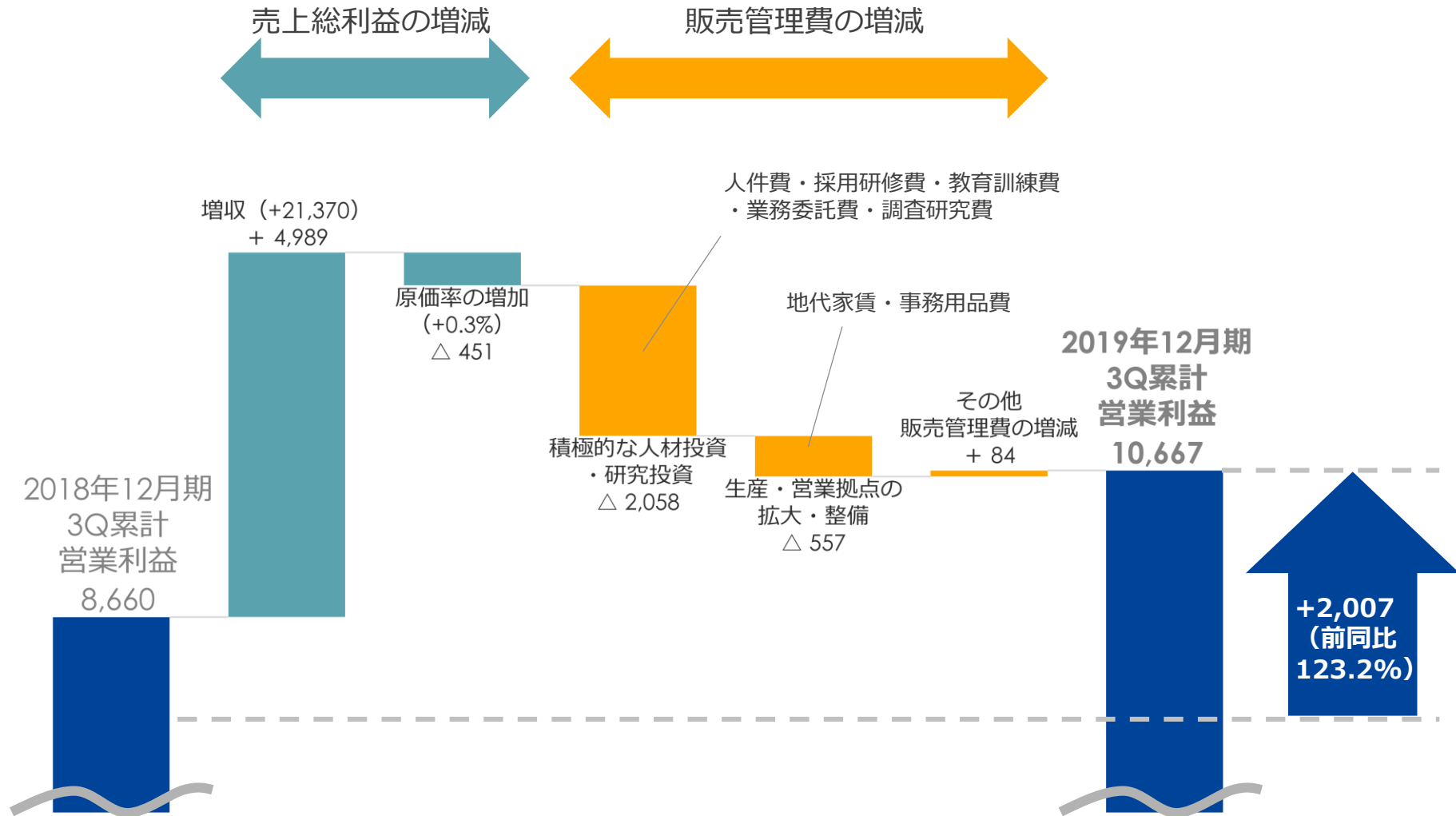
◇経常利益は、前同比117.3%の10,922百万円となりました。(増減要因詳細はP.8「4.連結損益計算書」)

◇親会社株主に帰属する四半期純利益は、前同比132.6%の6,095百万円となりました。

(単位：百万円)

	2018年12月期 3Q累計実績	2019年12月期 3Q累計実績	前同差	前同比	2019年12月期 3Q累計計画	計画比
売上高	152,783	174,153	+21,370	114.0%	157,550	110.5%
営業利益	8,660	10,667	+2,007	123.2%	8,800	121.2%
営業利益率	5.7%	6.1%			5.6%	
経常利益	9,315	10,922	+1,607	117.3%	9,250	118.1%
経常利益率	6.1%	6.3%			5.9%	
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,597	6,095	+1,498	132.6%	4,780	127.5%
親会社株主に帰属する四半期純利益率	3.0%	3.5%			3.0%	

連結営業利益の状況 (1-9月)





1. 連結業績ハイライト② (3Q 区間7-9月実績)

売上高は前同比116.3%と増収

売上原価率は78.2%に増加

◇売上原価率は、他社製品販売の増加および需要動向の変化に柔軟に対応するための人材の確保などにより78.2%になりました。

販売費及び一般管理費は前年同期より642百万円増加

◇採用・教育などの人材投資、拠点整備、調査研究など、積極的な先行投資により、前年同期より642百万円増加し、9,205百万円となりましたが、業務効率化により販管費率は改善しました。

◇上記により、営業利益は前同比117.6%となりました。

(単位：百万円)

	2019年12月期 2Q累計実績	前同差	前同比	2019年12月期 3Q区間実績	前同差	前同比
売上高	113,556	+12,868	112.8%	60,597	+8,502	116.3%
売上原価	86,529	+9,568	112.4%	47,417	+7,264	118.1%
売上原価率	76.2%			78.2%		
売上総利益	27,027	+3,299	113.9%	13,179	+1,238	110.4%
販売費及び一般管理費	20,334	+1,888	110.2%	9,205	+642	107.5%
営業利益	6,693	+1,411	126.7%	3,974	+596	117.6%
営業利益率	5.9%			6.6%		



2. 主なグループ会社売上高・営業利益

(単位: 百万円)

	2019年 12月期	売上高	営業利益	
富士ソフト	3Q累計実績	112,001	5,543	売上高は、組込/制御系では自動車関連、社会インフラ系、機械制御系、業務系では流通・サービス向け、製造業向け、ノンバンク、インターネットサービス、プロダクト・サービスではライセンス販売を中心にSI事業が好調に推移し、増収となりました。営業利益は、増収により増益となりました。
	前同差	+13,575	+478	
	前同比	113.8%	109.5%	
サイバネットシステム	3Q累計実績	16,431	1,956	売上高は、国内ではCAEソリューションサービス事業及びITソリューションサービス事業ともに好調に推移しました。海外では、米国の開発子会社及びアジアの販売子会社が好調に推移し、増収となりました。営業利益は、増収により増益となりました。
	前同差	+1,333	+706	
	前同比	108.8%	156.5%	
ヴィンクス	3Q累計実績	22,607	1,537	売上高は、消費税増税対応による案件の増加及び既存顧客への深耕が奏功したことにより、増収となりました。営業利益は、増収および原価率の改善により増益となりました。
	前同差	+3,581	+365	
	前同比	118.8%	131.2%	
サイバーコム	3Q累計実績	10,462	717	売上高は、ソフトウェア開発事業における生保向けシステム及び公共向けシステム等の業務系案件や、サービス事業における構築系案件が好調に推移したことにより、増収となりました。営業利益は、増収及び生産性向上等による原価率の改善により増益となりました。
	前同差	+1,615	+258	
	前同比	118.3%	156.4%	
富士ソフト サービスビューロ	3Q累計実績	9,271	550	売上高は、官公庁向けBPO業務が引き続き好調に推移し、また民間向けでは継続業務を中心に堅調であったことから増収となりました。営業利益は、増収及び原価低減により、インフラ整備費等の販管費の増加を吸収して増益となりました。
	前同差	+1,516	+332	
	前同比	119.6%	253.1%	

※「2019年12月期3Q累計実績」欄には、各社2019年1～9月の実績を記載しています。



3.連結セグメント別売上高・営業利益

(単位：百万円)

	2019年12月期売上高		前同差	前同比	2019年12月期営業利益		前同差	前同比
	3Q累計実績	構成比			3Q累計実績	営業利益率		
全社計	174,153	100.0%	+21,370	114.0%	10,667	6.1%	+2,007	123.2%
SI事業	161,837	92.9%	+20,001	114.1%	9,362	5.8%	+1,976	126.8%
システム構築	98,425	56.5%	+14,071	116.7%	5,902	6.0%	+1,516	134.6%
組込系／制御系ソフトウェア	48,127	27.6%	+4,294	109.8%	3,297	6.9%	+553	120.2%
業務系ソフトウェア	50,297	28.9%	+9,777	124.1%	2,605	5.2%	+963	158.7%
プロダクト・サービス	63,411	36.4%	+5,929	110.3%	3,460	5.5%	+460	115.3%
プロダクト・サービス	52,407	30.1%	+6,386	113.9%	2,729	5.2%	+559	125.8%
アウトソーシング	11,004	6.3%	△ 456	96.0%	730	6.6%	△ 99	88.0%
ファシリティ事業	2,159	1.2%	△ 7	99.6%	910	42.2%	+117	114.9%
その他事業	10,156	5.8%	+1,376	115.7%	394	3.9%	△ 86	82.0%

セグメント別売上高のポイント

●組込系／制御系ソフトウェア

売上高は、自動車関連、社会インフラ系、機械制御系が好調に推移したことにより、前同比109.8%と増収になりました。営業利益は、増収および原価率の改善により前同比120.2%と増益になりました。

●業務系ソフトウェア

売上高は、製造業向け、流通・サービス向け、ノンバンク、インターネットサービスを中心に好調に推移し、前同比124.1%と増収になりました。営業利益は、増収および原価率の改善により前同比158.7%と増益になりました。

●プロダクト・サービス

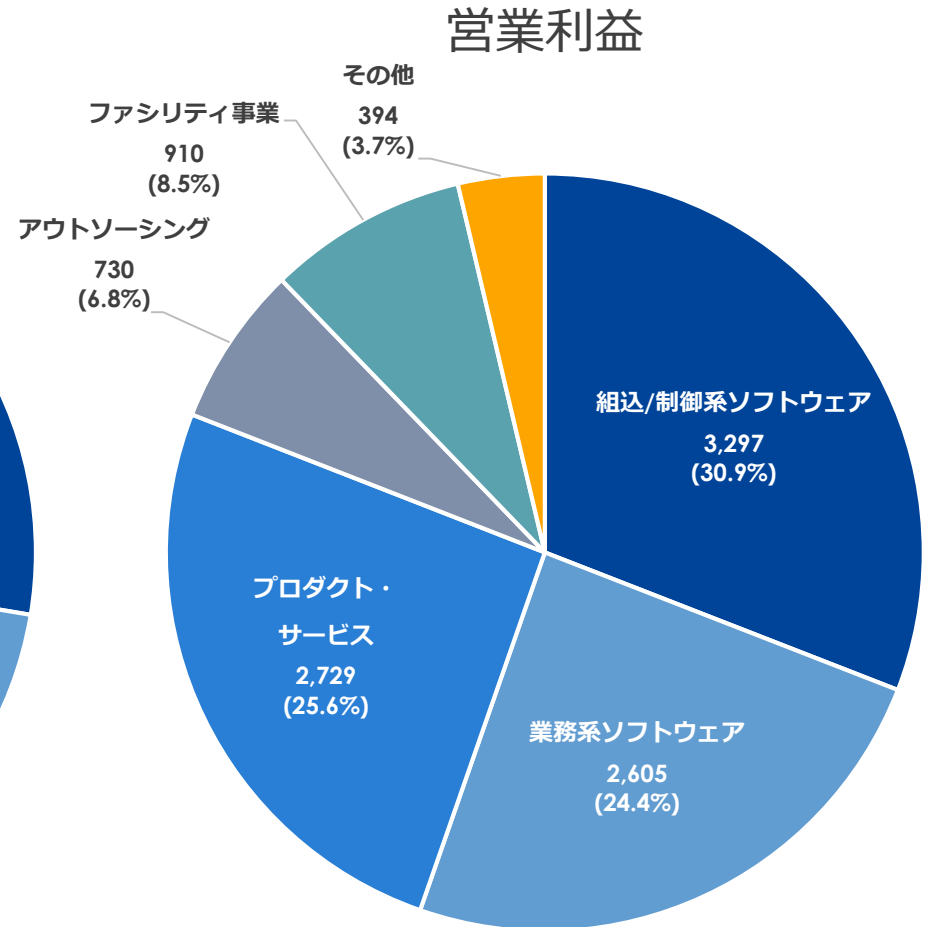
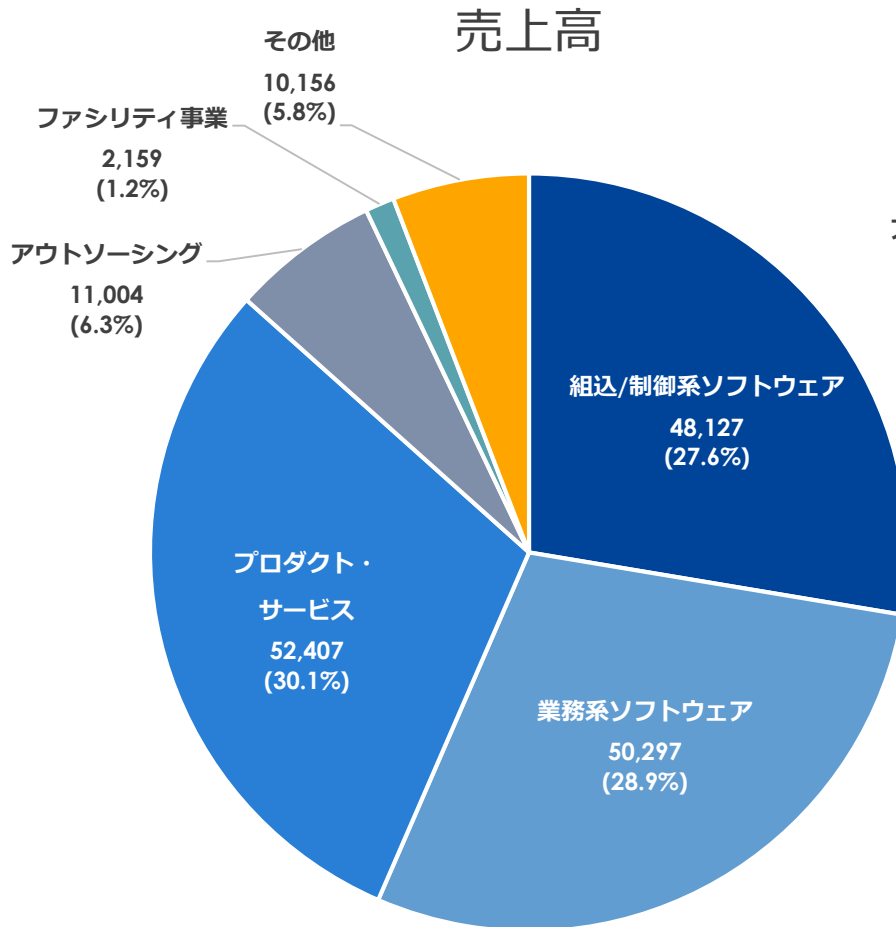
売上高は、他社製品販売が好調に推移し、前同比113.9%と増収になりました。営業利益は、増収により前同比125.8%と増益になりました。

●アウトソーシング

売上高は、グループ会社における流通・サービス向けが減少し、前同比96.0%と減収となりました。営業利益は、減収により前同比88.0%と減益になりました。



連結セグメント別売上高・営業利益の状況（1-9月）



4.連結損益計算書

(単位：百万円)

	2018年12月期	2019年12月期	前同差	前同比	2019年12月期	
	3Q累計実績	3Q累計実績			3Q累計計画	計画比
売上高	152,783	174,153	+21,370	114.0%	157,550	110.5%
売上原価	117,114	133,946	+16,832	114.4%	-	-
売上原価率	76.7%	76.9%	①			
売上総利益	35,669	40,207	+4,537	112.7%	-	-
売上総利益率	23.3%	23.1%				
販売費及び一般管理費	27,008	29,539	+2,530	② 109.4%	-	-
販管費率	17.7%	17.0%				
営業利益	8,660	10,667	+2,007	123.2%	8,800	121.2%
営業利益率	5.7%	6.1%			5.6%	
営業外収益	433	436	+3	100.9%	-	-
営業外費用	79	314	+234	③ -	-	-
持分法による投資損益	301	131	△ 169	③ 43.7%	-	-
経常利益	9,315	10,922	+1,607	117.3%	9,250	118.1%
経常利益率	6.1%	6.3%			5.9%	
特別利益	1,004	224	△ 780	④ 22.3%	-	-
特別損失	2,108	136	△ 1,972	④ 6.5%	-	-
税金等調整前四半期純利益	8,211	11,010	+2,799	134.1%	-	-
法人税等合計	3,364	3,369	+4	100.1%	-	-
四半期純利益	4,846	7,641	+2,794	157.7%	-	-
非支配株主に帰属する四半期純利益	249	1546	+1,296	-	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,597	6,095	+1,498	132.6%	4,780	127.5%
親会社株主に帰属する四半期純利益率	3.0%	3.5%			3.0%	

損益計算書のポイント

① 売上原価率 (76.9%)

受託開発原価率が改善したものの、他社製品販売の増加や需要動向の変化に柔軟に対応するための人材の確保などにより増加

② 販売費及び一般管理費 (+2,530百万円)

採用・教育などの人材投資、拠点整備、調査研究など、積極的な先行投資による費用の増加

③ 営業外費用 (+234百万円)

持分法による投資利益 (△169百万円)

営業外費用は為替差損による増加（前年同期は為替差益）など
持分法による投資損益はエース証券の減益による減少

④ 特別利益 (△780百万円)

特別損失 (△1,972百万円)

特別利益は、投資有価証券売却益等（前年は投資有価証券売却益およびサイバネットの事業譲渡益）

特別損失は、グループ会社の事務所移転にともなう費用、投資有価証券の減損等（前年はサイバネットの事業の見直しにおけるのれん減損損失等）



5.連結貸借対照表

(単位：百万円)

	2018年12月期 期末	2019年12月期 3Q期末	前期末差	2018年12月期 3Q期末(参考)
流動資産	77,315	85,430	+ 8,114 ①	73,307
現金及び預金	22,554	21,715	△ 838	20,135
受取手形及び売掛金	44,456	48,829	+ 4,373	41,979
有価証券	4,000	6,000	+ 2,000	4,000
たな卸資産	3,354	5,401	+ 2,047	4,100
その他	2,950	3,484	+ 533	3,092
固定資産	115,310	116,139	+ 828	119,246
有形固定資産	82,356	81,895	△ 461	82,364
無形固定資産	4,738	4,561	△ 177	4,959
投資その他の資産	28,214	29,682	+ 1,467	31,922
資産合計	192,625	201,569	+ 8,943	192,554
流動負債	49,428	44,073	△ 5,355	57,740
支払手形及び買掛金	9,526	14,378	+ 4,851	10,456
短期借入金	16,207	4,988	△ 11,218	19,884
コマーシャル・ペーパー	-	-	-	5,000
未払費用・賞与引当金	9,155	11,147	+ 1,992 ②	10,351
未払法人税等	2,492	2,711	+ 219	2,418
工事損失引当金	252	147	△ 105	100
その他	11,793	10,699	△ 1,094	9,528
固定負債	23,526	32,373	+ 8,846	13,670
長期借入金	13,319	22,803	+ 9,483	2,828
その他	10,207	9,569	△ 637	10,841
負債合計	72,955	76,446	+ 3,491	71,410
純資産合計	119,670	125,123	+ 5,452	121,143
負債純資産合計	192,625	201,569	+ 8,943	192,554

貸借対照表のポイント

① 流動資産 (+8,114百万円)

好調な受注環境による売上債権および棚卸資産の増加、
および短期資金の運用のための譲渡性預金の増加

② 流動負債 (△5,355百万円) 固定負債 (+8,846百万円)

調達目的に応じた長短資金バランスの見直し

6.連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	2018年12月期 3Q累計実績	2019年12月期 3Q累計実績	前同差
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,210	8,890	+680
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 22,161	△ 4,231	+17,930
財務活動によるキャッシュ・フロー	13,564	△ 3,345	△ 16,909
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 79	△ 130	
現金及び現金同等物の増減額	△ 465	1,182	
現金及び現金同等物の期首残高	22,157	24,587	
現金及び現金同等物の四半期末残高	21,691	25,770	

キャッシュ・フローのポイント

●営業活動によるキャッシュ・フロー

当期は8,890百万円の収入となりました。

なお、増収による入金増加により、前同差は680百万円の増加となりました。

●投資活動によるキャッシュ・フロー

当期は自社製品や設備に関する投資により、4,231百万円の支出となりました。なお、前期はオフィススペース確保のための土地・建物取得などにより、22,161百万円の支出でした。

●財務活動によるキャッシュ・フロー

当期は配当金の支払い等により、3,345百万円の支出となりました。なお、前期は土地・建物取得に関する借入により、13,564百万円の収入でした。

7.連結S I事業の受注高・受注残高

(単位：百万円)

	2019年12月期 3Q累計実績							
	期首受注残高	前同比	受注高	前同比	売上高	前同比	期末受注残高	前同比
SI事業 合計	44,627	111.3%	171,927	118.0%	161,837	114.1%	54,718	124.6%
システム構築	31,330	114.1%	103,030	117.3%	98,425	116.7%	35,935	116.1%
組込系／制御系ソフトウェア	12,759	111.6%	49,796	109.8%	48,127	109.8%	14,428	111.3%
業務系ソフトウェア	18,570	116.0%	53,233	125.3%	50,297	124.1%	21,506	119.7%
プロダクト・サービス	13,297	105.2%	68,897	119.2%	63,411	110.3%	18,783	144.7%
プロダクト・サービス	10,795	111.1%	57,200	123.3%	52,407	113.9%	15,589	154.6%
アウトソーシング	2,501	85.5%	11,696	102.4%	11,004	96.0%	3,193	110.4%

受注高・受注残高のポイント

●システム構築分野のポイント

- ・組込系/制御系ソフトウェア
社会インフラ系、機械制御系の受注が好調に推移し、期末受注残高は前同比111.3%となりました。
- ・業務系ソフトウェア
流通・サービス向け、製造業向け、ノンバンク、インターネットサービス向けを中心に受注が好調に推移し、期末受注残高は前同比119.7%となりました。

●プロダクト・サービス分野のポイント

- ・プロダクト・サービス
ライセンス販売の受注が好調に推移し、期末受注残高は前同比154.6%となりました。
- ・アウトソーシング
グループ会社における流通・サービス向けの取引が減少しましたが、運用・保守案件の受注が好調に推移し、期末受注残高は前同比110.4%となりました。



※ 本資料に掲載されている業績の見通し等将来に関する情報は、現在入手可能な情報に基づいて合理的と判断したものです。実際の業績は市場動向、経済情勢など様々な要因の変化により大きく異なる可能性があります。

また、資料配布の目的が、当社株式の保有継続および追加購入を推奨するものではないことも、併せてご理解いただきますようお願い申し上げます。